

未来に向けた まちづくりのために

～平成25年度当初予算案の概要～

平成25年2月15日
財 政 局

目

次

I	基本姿勢	・ ・ ・	1
II	政策の推進		
1	重点戦略の推進	・ ・ ・	8
2	重要施策の推進	・ ・ ・	12
3	経済対策の推進	・ ・ ・	21
III	行財政改革		
1	行財政改革の推進	・ ・ ・	23
2	財政健全化に向けた改革の取組み	・ ・ ・	24
3	市債発行の抑制	・ ・ ・	29
IV	予算案の姿	・ ・ ・	36

I 基本姿勢

1 未来に向けたまちづくり

- ・ 新たな基本構想・計画の初動にあたり、特に「地域」「子ども」に注力
- ・ 「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を戦略的に創出

2 国と連動した緊急経済対策の実施

- ・ 国の財源を活用し、身近な施設の整備改善を大幅に前倒し
- ・ 24年度2月補正と合わせ、切れ目のない「14ヵ月予算」を編成

3 優先順位の最適化(ビルド&スクラップ)

- ・ 簡素で効率的な市役所を実現し、持続可能な市政運営に取り組む
 - ・ 政策推進と行財政改革の連動により、真に必要な施策事業に重点化
-

1 未来に向けたまちづくり①

＜生活の質の向上＞

強い絆で結ばれた地域づくり

- ・ 区の実施する事業の意思決定に地域住民が参加
- ・ 地域活動の運営上の課題への対応策の検討を支援
- ・ 高齢者が社会や地域で活躍できる仕組みを検討・構築

次代を担う子どもの育成

- ・ 26年4月の待機児童ゼロに向け、民間保育所整備を推進
- ・ 認可外保育施設の夜間利用者への支援を実施
- ・ 「福岡市保育コンシェルジュ」を全区に配置
- ・ いじめ等未然防止のためのQ-Uアサートの全校拡大実施
- ・ 小6の英語教育の充実（全校でゲストティーチャー15→35h/年）

1 未来に向けたまちづくり②

＜都市の成長＞

人を集め、活力を生み出す都市の魅力づくり

- ・ NHK大河ドラマにあわせた黒田官兵衛プロジェクト
- ・ フィギュアスケート・グランプリファイナルを開催
- ・ 「アジアを知る」イベントとして実施していたアジアマンスを、「アジアと創る」アジアンパーティーとして発信
- ・ セントラルパーク構想（大濠・舞鶴公園の一体的活用）

スタートアップ都市・福岡の実現

- ・ ゲーム、ファッションなどクリエイティブ産業を振興
- ・ 第二産学連携交流センターの整備、有機EL実用化センター支援
- ・ 成長分野の企業や本社機能の立地を促進
- ・ アイランドシティでスマートコミュニティ創造事業推進

2 国と連動した緊急経済対策の実施

身近な施設の整備改善をスピードアップ

- ・生活基盤の改善を大幅に前倒し
- ・公園の再整備・施設更新等（139箇所）
- ・小中学校校舎・体育館等改造（47校）
- ・博物館リニューアル、雑餉隈連続立体交差事業 等

市の負担を軽減し市債残高も縮減

- ・24年度2月補正と合わせ「14ヵ月予算」を編成
- ・国の財源を活用し、本来の市の負担を軽減
- ・市債残高は全会計で着実に縮減しており、
国の臨時交付金を活用し更に縮減を図る見込み

3 優先順位の最適化(ビルド&スクラップ)

政策推進と行財政改革を連動

- ・ 今後4年間力を入れる重点戦略を取組方針として明示
- ・ 現場に近い局区長の裁量を拡大し、局区の自律経営による選択と集中で政策実現に必要な財源を確保

筋肉質な市役所づくりにチャレンジ

- ・ 区役所の窓口サービス改善、接遇向上を推進
- ・ 市民と直接接する現場の声を活かす業務改善を推進
- ・ 市長給与を削減し改革を率先垂範（▲20%）
- ・ 市債残高を着実に縮減（H24年度末比▲315億円）

Ⅱ 政策の推進①

1 重点戦略の推進（今後4年間重点的に取り組む分野）

<生活の質の向上>

- （１） 見守り、支え合う、強い絆の地域づくり
- （２） 次代を担う子ども、グローバル人材の育成

<都市の成長>

- （３） 観光・集客、M I C E誘致
都心部機能強化の推進
- （４） 人と企業を呼び込むスタートアップ都市づくり

Ⅱ 政策の推進②

2 重要施策の推進（基本計画に掲げた8つの分野別目標）

<生活の質の向上>

- 1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている
- 2 さまざまな支え合いとつながりができている
- 3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている
- 4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている

<都市の成長>

- 5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている
- 6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている
- 7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している
- 8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている

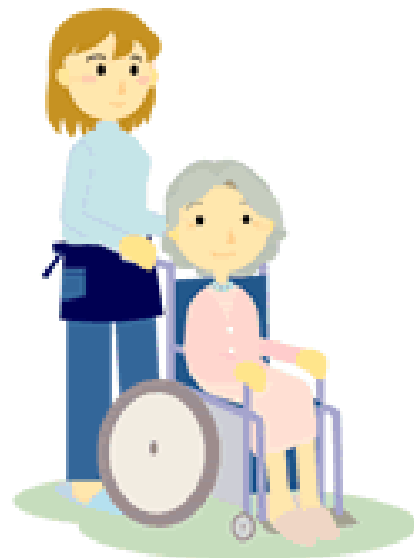
1. 重点戦略の推進

1. 見守り，支え合う，強い絆の地域づくり

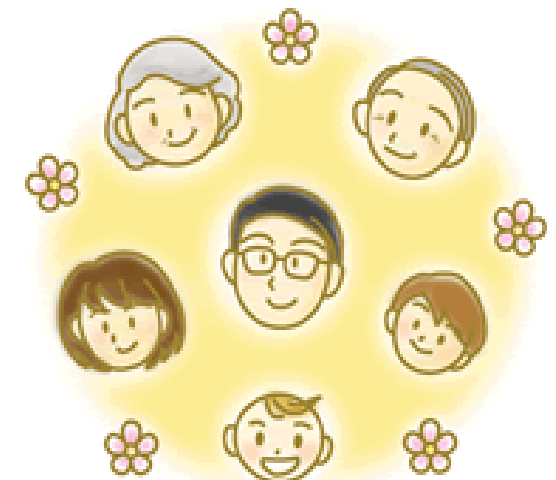
地域コミュニティ活動などの市民の主体的な活動を支援・促進するとともに，これを支える場やしくみ，福祉サービスの再構築を図るなど，誰もが住みなれた地域で安心して健やかに暮らしていける，見守り，支え合う，強い絆の地域づくりを強力に進めます。

地域コミュニティの活性化

★新規 ☆拡充（単位：千円）



- ★地域参画予算 【15,300】
地域住民が意思決定に参画する区役所事業の実施
- ☆コミュニティ活動市民参加促進事業 【7,920】
自治協議会サミットの開催や自治会・町内会への加入促進策の実施
- ★自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業 【2,100】
課題の原因分析や対応策を検討するワークショップ等の実施を支援
- ★みんなの公民館づくり 【4,370】
自治協のブログの開設支援や，公民館を身近に感じてもらうための取組み
- ☆公民館地域人材発掘・育成支援事業 【1,000】
地域と連携して多様な人材のコミュニティデビューを促す取組み



高齢者，障がい者の支援

- ☆超高齢社会に対応した施策の検討 【17,500】
60歳対象の「還暦式(仮称)」開催，地域における共助の仕組みづくり
- ☆福岡型地域包括ケアシステム検討 【19,826】
在宅療養の安定継続のための医療，介護等の連携と地域ネットワークづくり
- ☆いきいきセンターふくおか運営等 【1,011,414】
市内39箇所のセンターで，高齢者の健康，介護等に関する相談業務を実施
- ★見守り推進プロジェクト 【22,074】
ライフライン事業者等からの異変連絡に対応するセンターをNPOと設置
- ★ときめきグッズ受注・発注コーディネート事業 【4,942】
障がい者施設で作られた商品の需給ミスマッチ解消等による販売促進

子ども，子育ての支援

- ★道徳教育推進・公民館こころ輝くまちふくおか推進 【15,306】
学校と公民館が連携し，道徳教育を核として子どもの健全育成事業を実施
- ☆若者のぷらっとホームサポート事業 【5,293】
地域の若者の居場所づくり支援事業を新たに開始
- ★絆ファミリー開拓事業（校区里親） 【6,001】
短期間の委託専任の里親区分を設け，全校区における養育里親登録を目指す
- ☆放課後等の遊び場づくり事業 【257,683】
放課後等に学校施設を活用した遊びや活動できる場の提供拡大
- ・地域子育て交流支援事業 【7,611】
公民館等で実施する子育て交流サロンの運営支援

2. 次代を担う子ども、グローバル人材の育成

安心して子どもを生み育てられ、女性が働きやすく活躍できる環境づくりの実現に向け、待機児童の早期解消をめざした保育所整備や保育環境の充実強化に取り組みます。また、心豊かでたくましい国際性豊かな子どもや世界で活躍できる多様な人材の育成や、若者や女性が活躍できる環境づくりに向けた取組みを進めます。

★:新規 ☆:拡充 (単位:千円)

子育ての支援

☆H26年4月の待機児童ゼロを目指し、1,900人分の保育所整備を推進
【3,876,096】

- ★中央保育園の移転改築 等
 - ★夜間就業世帯への認可外保育所利用支援 【8,473】
 - ★安心こども基金を活用した私立保育所の保育士等処遇改善や保育士就職支援等 【547,034】
 - ・待機児童支援 【49,413】
 - ★『福岡市保育コンシェルジュ』を全区に配置 【26,057】
- 保育サービスの情報提供・助言等を行う専門員を配置



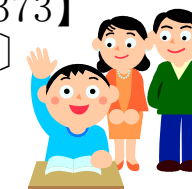
25年度整備数:1,900人分 ※過去最大規模の整備数
(24年度補正前倒し含む)

26年度当初の待機児童解消を目指した取組み
(31,400人分の入所申込みに対応)

〔参考〕 24年度整備数:1,400人分
(23年度補正前倒し含む)

学校教育の充実や活動の場づくり

- ☆英語教育の推進 【415,373】
- 小6の英語教育の拡充実施〔全校でゲストティーチャー 15h → 35h/年〕
- 中1～高3へのネイティブスピーカーの全校配置
- 小学生向けの英語体験イベント(「特設 英語村」)開催や
- 「釜山グローバルビレッジ」への派遣拡大〔70名→100名〕 等
- ☆特別支援教育支援員等の配置 【141,747】
- 特別な支援を要する児童生徒への支援員の配置拡大〔120名→150名〕
- ★伊都土地区画整理事業地内への小学校新設〔H29開校予定〕 【704,130】
- ☆若者のぷらっとホームサポート事業 【5,293】
- フリースペース「てい～んず」の運営に加え、地域の若者の居場所づくり
- 支援事業を新たに開始



グローバル人材育成、若者や女性の活躍支援

- ★いじめゼロプロジェクト 【4,500】
- いじめゼロサミットの開催、いじめゼロ宣言、市長メッセージDVD作成等
- ★道徳教育の推進 【13,206】
- モデル校での地域人材活用による心の教育(コーディネーター配置)
- ★公民館こころ輝くまちふくおか推進事業 【2,100】
- モデル校区公民館における社会活動体験機会の充実
- ☆スクールカウンセラー・不登校対応教員配置, 【230,813】
- スクールソーシャルワーカー配置拡大〔10名→12名〕
- ☆いじめ・不登校の未然防止と早期発見に向けた取組みの強化 【18,300】
- 小5(4校)、中1(24校)に加え、全ての小6及び中1・2での
- Q-Uアンケートの実施 等



- ★グローバル人材の育成と集積 【34,000】
- 福岡に多様な人材が集まり、つながることでイノベーションを創出する機能や
- 教育機関と連携したグローバル人材の育成機能の検討
- ☆アジア太平洋こども会議・イン福岡 【64,500】
- アジア太平洋の国・地域の子どもたちの相互交流への支援
- ★25周年特別事業に対する支援
- ・将来に夢を描く学びの場「中高生夢チャレンジ大学」実施 【10,267】
- ・小中学生のまちづくり・仕事体験の場「ミニふくおか」開催 【15,604】
- ★女性活躍企業応援事業 【2,500】
- 民間企業の女性プロジェクトチームの実践的活動の支援等



3. 観光・集客、MICE誘致及び都心部の機能強化の推進

- ◇ 歴史・文化・食など福岡市の資源や魅力を掘り起こし、磨きをかけるとともに、ブランド化による積極的なプロモーションを行うなど、戦略的な観光・集客、さらなるMICE誘致を積極的に推進します。
- ◇ 都市の活力を牽引する都心部の機能・魅力の向上を図るとともに、多くの来街者を都心部全体に波及させるアクセス性や回遊性を高めるなど、国際競争力のある都心づくりを進めます。

観光・MICE

★新規 ☆拡充（単位：千円）

★セントラルパーク構想推進事業【13,050】

大濠・舞鶴公園の一体的活用に向けた検討 等

☆日本で唯一の歴史資源活性化事業【32,644】

鴻臚館・福岡城などの歴史・文化資源を集客資源として活用

☆鴻臚館跡整備基本構想、福岡城跡整備基本計画【14,435】

鴻臚館跡整備基本構想の検討(26年度策定)、福岡城跡整備基本計画の策定

★黒田官兵衛プロジェクト【71,119】

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にあわせたプロモーション活動、史跡・遺物の公開や市民講座等を実施

★アムステルダム便就航にあわせた欧州プロモーション【13,500】

アムステルダム便就航にあわせたインバウンド説明会やプロモーションの実施

・MICE誘致推進事業【53,831】

経済波及効果や情報発信力の高い国内外MICEの誘致

・MICE開催支援等推進事業【25,918】

MICE主催者や参加者のニーズに合わせたきめ細かな支援や歓迎演出

☆コンベンション機能強化の検討【15,000】

ウォーターフロントエリアにおける新たな展示場の検討推進

☆大規模スポーツ大会開催・誘致検討【92,610】

フィギュアスケート・グランプリファイナルの開催、市民参加型フルマラソン大会の開催検討

☆アジアンパーティーの開催【222,240】

「アジアを知る」アジアマンスを、「アジアと創る」アジアンパーティーとして発信(アジアフォーカス映画祭、アジア太平洋フェスティバル、アジア文化賞、クリエイティブフェスタの開催 等)

都心部機能強化の推進

☆地下鉄七隈線延伸事業の推進【2,763,000】

早期実現に向け、着工に必要な手続き及び設計等を進め、建設工事に着手

・都市再生の推進【27,342】

民間開発の適正誘導や公共用地等の活用検討など、官民一体となった都心部の機能強化と魅力づくり

☆中央ふ頭整備事業【7,279】

ウォーターフロント地区における賑わいづくり方策検討

・産学官民連携による国際競争力強化【49,700】

産学官民が一体となって地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う「福岡地域戦略推進協議会」への参画



★快適で高質な都心回遊空間の創出【14,000】

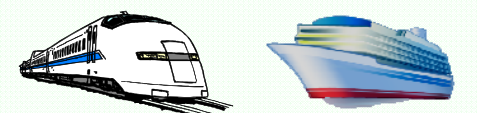
歩行空間の高質化や機能強化、歴史等の既存資源を活かした都心回遊空間の充実・強化の検討、春吉橋周辺における回遊スポットとしての賑わい創出空間の検討

・都心部とWFとの交通アクセス強化の検討【4,500】

都心部とウォーターフロントとのアクセス強化に向けた、来訪者にも分かりやすい公共交通の検討

・都心部等の新たな幹線道路の検討【4,300】

天神地区における新たな幹線道路の検討



4. 人と企業を呼び込むスタートアップ都市づくり

- ◇ クリエイティブ産業の集積、大学や研究機関から生み出される研究成果の活用などにより、新たな産業の振興と雇用創出を図ります。
- ◇ アジアとの関係や環境技術・福祉のノウハウ等も活かしながら、アジア展開をめざす企業や、国内展開をめざすアジア企業の実験的・モデル的事業を支援促進するなど、挑戦する人や企業を呼び込み、集積を図る「スタートアップ都市」づくりを進めます。

★新規 ☆拡充（単位：千円）

新たな産業の振興・技術開発

☆クリエイティブ関連産業の振興【28,877】

ゲーム、ファッション(FACo)、デザイン、音楽等のクリエイティブ産業の振興

★クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業【5,000】

福岡のクリエイティブ関連産業の包括的拠点のニーズや必要性の調査・検討

★福岡・釜山超広域経済圏の形成(コンテンツ関連)【7,000】

釜山での福岡デザイン展・FACo開催、釜山G-Starへの参画

・アイランドシティ・スマートコミュニティ創造事業【46,775】

スマートコミュニティ形成に向けたエネルギーマネジメントシステムの導入支援

研究機関等の活用

☆第二産学連携交流センター整備【963,683】

産学連携交流センターの規模・機能を拡充した、第二産学連携交流センターの整備(10月オープン)

・九州先端科学技術研究所(ISIT)支援等【272,037】

IT, ナノテク分野の研究開発及び新産業創出等に取り組むISITの支援

☆有機光エレクトロニクスの実用化促進【45,000】

最先端研究成果の実用化に向け、有機光エレクトロニクス実用化開発センターの支援

スタートアップ支援等

・インキュベート事業【144,346】

創業促進のため低廉な使用料の事務所を提供(百道、博多、IC)

・福岡市創業者応援団事業【6,391】

地場経営者・専門家と共働し、相談会、交流会、ステップアップ助成事業等実施

★大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業【8,000】

大学・専門学校や企業等と連携し、ゲーム・映像等の即戦力や専門人材を育成

☆企業立地促進制度の実施【340,000】

国内外企業の立地促進や市内既存事業所の転出防止のため立地交付金を交付

2. 重要施策の推進

1. 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている

ユニバーサルデザインの理念によるまちづくりを推進するとともに、多くの市民が元気に、心豊かに生活を送ることができるよう、社会の担い手として社会参加できる環境や、文化芸術・スポーツを楽しむやすい環境づくりに取り組みます。

また、安心して子どもを生み育てられるよう子育て環境の充実を図るとともに、将来を担う子どもたちが心豊かにたくましく成長できるよう、学力向上など教育課題の解決や、ひきこもり等の困難を有する若者への支援に取り組みます。

ユニバーサル

健康・生きがい

文化

高齢・障がい

★ ユニバーサル都市・福岡の推進【15,000】

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

ユニバーサルデザインのさらなる浸透のための、フェスティバルの開催継続や★表彰制度の創設等

★ 公共交通バリアフリー化促進【68,066】

公共交通施設等のバリアフリー化整備への補助(JR 下山門駅のエレベーター設置等)

★ 福岡市健康づくりチャレンジ事業【19,720】

めじゃ〜リーグ福岡の実施、市民の健康づくり活動にポイントを付与し、市民や地域・社会に還元する仕組みの検討等

★ 超高齢社会に対応した施策の検討【17,500】

60歳を対象とした「還暦式(仮称)」開催等によるアクティブエイジングの推進や、地域における共助の仕組みづくり

★ 自殺予防対策【20,943】

精神保健福祉センター内に自殺予防情報センター(仮称)を新設、ハイリスク者に対する包括的な支援体制の構築等

★ 美術館大規模改修・リニューアル【161,885】

美術館大規模改修・リニューアルの最適事業手法調査及び収蔵庫の整備工事

★ いきいきセンターふくおか運営等【1,011,414】

「いきいきセンターふくおか」の相談体制強化(総合相談、介護予防、権利擁護を一体的に実施)

★ 福岡型地域包括ケアシステム検討【19,826】

高齢者の在宅療養を安定的に継続させるために必要な医療・介護等の連携及び地域のネットワーク構築に向けたモデル事業の実施等

★ ときめきグッズ受注・発注コーディネート事業【4,942】

障がい者施設で作られた商品(ときめきグッズ)に関する情報提供や需給のミスマッチ解消等による販売の促進

★ 障がい者虐待防止・基幹相談支援センター設置【31,932】

障がい者の虐待防止及び地域生活に関する相談支援の中核機関を新設



子育て	★ 児童家庭支援センター【13,060】 児童に関する家庭からの相談や区からの求めに応じ、助言や必要な援助等を行う児童家庭支援センターを設置 ★ 絆ファミリー開拓事業（校区里親）【6,001】 短期間の委託専任の里親区分を設け、全校区における養育里親登録を目指す ☆ 保育所整備の推進【3,876,096】 H26 年4月の待機児童ゼロに向けた民間保育所整備や学校分園整備等(1,900 人分)に対する助成 ★ 待機児童支援（夜間拡充）【8,473】 認可外保育施設を利用する夜間就業世帯向けの助成を実施	★新規 ☆拡充 (単位:千円)	
英語	☆ 小学校外国語活動支援事業【76,613】 小学校5・6学年において、留学生等のゲストティーチャーを配置(全校の小6で年間 35hに時間数拡充) ☆ グローバル チャレンジ イン 釜山・福岡市らしい英語教育の推進【19,353】 英語体験施設「釜山グローバルビレッジ」への中学生派遣を拡充(70 名→100 名)、「留学体験 イン モモチ」の実施、「特設 英語村」の開設		
いじめ・道徳	★ いじめゼロプロジェクト【4,500】 いじめゼロサミットの開催、いじめゼロ宣言、市長メッセージ DVD 作成等 ★ 道徳教育推進事業・公民館こころ輝くまちふくおか推進事業【15,306】 モデル校での地域人材等の活用による心の教育(コーディネーター配置)、モデル校区公民館での健全育成関連事業の実施等 ☆ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業【156,991】 いじめ、不登校問題に対して、学校や地域にスクールカウンセラー(臨床心理士)やスクールソーシャルワーカー(10→12 名)を配置 ☆ いじめ・不登校ひきこもり対策支援【18,300】 校内適応指導教室の運営、いじめ・不登校の未然防止・早期発見のための Q-U アンケートを全ての小6～中2生を対象に実施		
若者	☆ 若者のぷらっとホームサポート事業【5,293】 フリースペース「ていへんず」の運営に加え、地域の若者の居場所づくり支援事業を新たに開始 ☆ 子ども・若者活躍の場プロジェクト【3,142】 農業体験を通してひきこもり等の困難を有する若者の立ち直り等を支援		
教育環境	☆ 特別支援教育支援員等の配置【141,747】 小中学校等に在籍する LD や ADHD 等障がいのある児童生徒等の支援を行うための支援員を配置(120→150 名) ☆ 学校規模適正化事業【490,408】 施設一体型小中連携校の整備による学校規模の適正化を推進(舞鶴中校区:H26.4、住吉中校区:H27.4 開校予定) ★ 伊都土地区画整理事業地内への小学校新設【704,130】 伊都土地区画整理事業地内における新設小学校用地の取得及び基本設計等(H29.4 開校予定)		

2. さまざまな支え合いとつながりができている

支え合いの基盤となる地域コミュニティの活性化を図るとともに、公民館等の活動の場づくりや支え合いによる地域福祉等を推進します。また、NPO、ボランティア活動の活性化や、ソーシャルビジネスなど多様な手法を活用した社会課題解決にも取り組みます。

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

地域コミュニティの活性化

- ・ **活力あるまちづくり支援事業【484,796】**
自治協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治や行政との共働によるまちづくりを推進
- ★ **自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業【2,100】**
自治協議会の運営基盤の強化に向け、課題の原因分析や対応策を検討するワークショップや勉強会等の実施を支援
- ☆ **コミュニティ活動市民参加促進事業【7,920】**
自治組織の活性化に向けた加入促進策や魅力向上策を地域と共働で実施
- ★ **地域参画予算【15,300】**
地域住民が意思決定に参画する区役所事業の実施

活動の場づくり

- ★ **みんなの公民館づくり【4,370】**
自治協のブログの開設支援や、公民館を身近に感じてもらうための取組み
- ☆ **公民館地域人材発掘・育成支援事業【1,000】**
地域と連携して、地域の多様な人材のコミュニティデビューを促す取組み(20館)
- ☆ **香椎副都心公共施設整備【167,371】**
千早駅前に市民センター、図書館、音楽・演劇練習場等の機能をもつ公共施設を整備(実施設計)

支え合い

- ・ **地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業【19,210】**
地域で見守り活動を行う組織の支援を行うソーシャルワーカーを配置
- ★ **見守り推進プロジェクト【22,074】**
NPOと共働で、ライフライン事業者等からの異変連絡に対応するセンターを設置

NPO

- ★ **おうちで暮らそうプロジェクト【3,702】**
NPOと共働で、障がい者の医療型短期入所実施施設拡大のための医療機関・利用者へのニーズ把握調査等を実施
- ・ **地域みんなで防災力向上事業【360】**
NPOと共働で、学校や地域に対する防災講座を実施



3. 安全・安心で良好な生活環境が確保されている

災害に強いまちづくりを進めるとともに、安全で快適な生活基盤の整備を推進します。

また、安全で良質な水の安定的供給や、犯罪のないまちづくりを進めることなどにより、安心して生活できる環境を確保します。

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

☆防災・危機管理体制の充実・強化【7,555】

大規模地震発生時に備えた市の業務継続計画の策定等

☆避難支援対策の充実・強化【30,496】

風水害や地震等が起きた場合の避難支援対策の充実・強化

☆都心部救急需要対策の強化【16,784】

都心部の救急需要の増加に伴い、本部救急隊を拡充(平日昼間2名体制→365日昼間5名体制)し、専用の救急車を配備

☆西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(雑餉隈駅付近)【3,620,692】(H24年度2月補正含む)

西鉄天神大牟田線雑餉隈駅付近の連続立体交差化〔32年度高架切替予定〕

・下水道整備(天神周辺地区などの浸水対策の推進)【8,657,000】(H24年度2月補正含む)

☆自転車対策【1,080,158】

車道での自転車通行空間や駐輪場の整備、放置自転車の指導啓発等

☆自転車安全利用推進【23,033】

福岡市自転車の安全利用に関する条例に基づく指導・啓発やNPOとの共働による自転車教室の開催等

・飲酒運転撲滅対策事業【8,606】

飲酒運転撲滅のため、広報啓発活動を積極的に実施

★暴力団対策防犯カメラ設置事業【31,000】

天神周辺地区において、暴力団対策防犯カメラを設置

☆警固公園安全安心センター(仮称)設置事業【71,220】

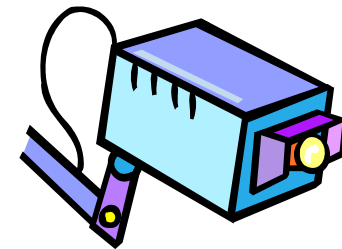
天神周辺地区の安全確保に向け、公園内に「警固公園安全安心センター」(仮称)を設置

★セアカゴケグモ対策【31,877】

福岡市セアカゴケグモ対策基本方針に基づくゴケグモ類の計画的駆除及び生態調査等の実施

★黄砂・微小粒子状物質(PM2.5)対策【10,981】

黄砂・PM2.5の予測、大気汚染の監視、市民への分かりやすい情報提供



4. 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている

環境負荷の少ない循環型社会の実現を目指し、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、省エネルギーの取り組みを推進します。また、自然と都市が調和したコンパクトで暮らしやすい魅力ある都市環境の形成を目指し、豊かな自然環境の保全とともに、都市機能や交通利便性の充実強化を図ります。

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

☆ メガソーラー発電の実施【40,493】

★東部(武節ヶ浦)埋立場(東区蒲田)への新規導入(H26n 発電開始)、大原メガソーラー発電所(西区今津)の発電

☆ コミュニティエネルギーマネジメントの構築(スマートコミュニティ創造事業)【合計 46,775】

★地域エネルギーマネジメントシステム構築実証支援〔蓄電池等の設置費助成〕

CO2 ゼロ街区におけるスマートハウス実証支援〔2~3電池の設置費助成〕

【38,035】

★スマートマンション実証支援〔太陽光発電、蓄電池等の設置費助成〕

★水素ステーション整備誘導【3,000】

福岡水素戦略等に基づく水素供給発電施設の立地に向けた検討 等

☆ 再生可能エネルギー導入支援等【174,662】

★集合住宅への太陽光アドバイザー等専門家の派遣、住宅用太陽光発電システム等の設置費助成

★ FIT 制度活用による学校施設、体育館、市営住宅の屋根等の有効活用に向けた調査【9,476】

★ 使用済小型電子機器の回収【3,285】

レアメタルの再資源化を促進するため回収ボックスを新たに設置〔区役所等 25 ヶ所〕

☆ 事業系ごみ資源化技術実証研究等の支援【28,049】

事業系ごみの資源化に向けた技術開発や回収システム構築に関する民間の研究を支援

☆ 野鳥公園整備の検討【18,476】

アイランドシティにおける野鳥公園の整備に向けた基本計画の策定等

・ 志賀島活性化構想の推進【4,800】

志賀島活性化に向けた地元の活性化検討や集客イベント開催の支援

★ みどり活用推進事業【35,200】

「みどり経営基本計画」の策定、水上公園の活用検討、公園駐車場の有料化等に向けた取り組み等

☆ 地下鉄七隈線延伸事業の推進【2,763,000】

早期実現に向け、着工に必要な手続・設計等を進め、建設工事に着手



自律分散型エネルギー社会の構築

社会構築 循環型

自然と都市の調和

交通 公共

5. 磨かれた魅力に、様々な人がひきつけられている

○自然、歴史、文化、食、スポーツ、商業施設などの多彩な資源を磨きあげ、回遊性の高さやおもてなしなどにより、アジアの交流拠点として世界中から人々を集めます。また、各都市と連携した取り組みやプロモーションにより九州全体の集客力を高めます。

○大濠公園、舞鶴公園一帯を、市民の憩いの場と、歴史、文化、観光の発信拠点とします。

○MICEの拠点都市や国際スポーツ大会の開催都市として国際的に認知される取り組みを推進します。

★ 黒田官兵衛プロジェクト【71,119】

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」にあわせたプロモーション活動、史跡・遺物の公開や市民講座等を実施

・ 日本で唯一の歴史資源活性化事業【32,644】

歴史・文化資源(鴻臚館、福岡城など)を集客資源として活用

☆ 鴻臚館跡整備基本構想、福岡城跡整備基本計画事業【14,435】

鴻臚館:整備・活用の基本方針を定める整備基本構想の検討(26年度基本構想策定)

福岡城:整備・活用の具体的な計画を定める整備基本計画の策定(25年度基本計画策定)

★ アムステルダム便就航にあわせた欧州プロモーション【13,500】

アムステルダム便就航にあわせたインバウンド説明会やプロモーションの実施

☆ アジアンパーティーの開催【222,240】

「アジアを知る」アジアマンスを、「アジアと創る」アジアンパーティーとして発信[アジアフォーカス・福岡国際映画祭、アジア太平洋フェスティバル、アジア文化賞、クリエイティブフェスタの開催 等]

★ セントラルパーク構想推進事業【13,050】

大濠・舞鶴公園の一体的活用に向けた検討等

★ 快適で高質な都心回遊空間の創出【14,000】

歩行空間の高質化や機能強化、歴史等の既存資源を活かした都心回遊空間の充実・強化の検討、春吉橋周辺における回遊スポットとしての賑わい創出空間の検討

・ MICE誘致促進事業、MICE開催支援等推進事業【79,749】

経済波及効果や情報発信力の高い国内外MICEの誘致、MICE支援や歓迎演出

☆ コンベンション機能強化の検討【15,000】

ウォーターフロントエリアにおける新たな展示場の整備に向けた検討の推進

☆ 大規模スポーツ大会開催・誘致検討【92,610】

フィギュアスケート・グランプリファイナルの開催、市民参加型フルマラソン大会の開催検討



6. 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている

- 成長分野の企業活動を活発にし、多くの国内外企業の立地を進めます。また、地場中小企業などにより特徴ある商品やサービスが生み出され、競争力を高める取組みを推進します。
- 担い手づくりや地産地消、特産品開発を進め、農林水産業や様々な産業で付加価値が向上するよう取り組みます。
- 若者、女性、高齢者、障がいのある人がいきいきと働く場を創出します。

知識創造産業振興

促進

企業強化

関連ビジネス振興

支援

★ 第二産学連携交流センター整備【963,683】

産学連携交流センターの規模・機能を拡充した、第二産学連携センターの整備(10月オープン)

・ 九州先端科学技術研究所(ISIT)支援等【272,037】

IT、ナノテク分野の研究開発及び新産業創出等の支援に取り組むISITの運営支援

★ 有機光エレクトロニクスの実用化促進【45,000】

最先端研究成果の実用化に向け、有機光エレクトロニクス実用化開発センターの支援

★ 企業立地促進制度の実施【340,000】

立地交付金や市税の特例措置により、成長性のある分野の企業及び本社機能を集積

★ トライアル発注認定事業【705】

地場中小企業の製品を福岡市が認定・購入することで当該製品を効果的にPRし、販路拡大を支援

★ 商店街活力アップ事業【25,634】

商店街が行う活力アップ活動や空店舗活用の助成、★買い物弱者支援など商店街による地域課題解決への支援

★ カキ養殖新技術推進事業【4,950】

養殖カキの品質向上や規格統一が図られるシングルシード方式の導入試験

★ 水産物ブランド化・流通対策、1次産品海外マーケティング拠点施設検討事業【7,500】

水産物の輸出促進に向けた海外でのニーズ調査、アンテナショップの開設を視野に入れた1次産品の試行販売

・ 新青果市場整備事業【755,390】

新青果市場の整備、現市場の跡地利用及び処分方法に関する検討等

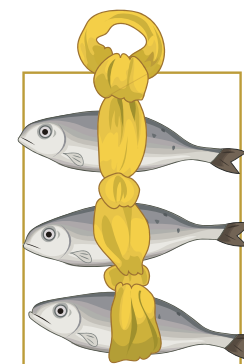
・ 就労相談窓口事業【44,256】

各区にキャリアコンサルタントを配置し、個別相談、セミナーの開催、求人情報の紹介を行う窓口を設置

・ 中高年雇用促進事業【52,576】

40歳以上の中高年を雇用する企業に雇用奨励金を交付

★新規 ☆拡充 (単位:千円)



7. 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している

- 創造的な人材・企業を集め、新たな価値を生み出し、開業率を全国トップレベルにします。
- クリエイティブ産業を集積・拠点化させ都市の成長の原動力とします。
- 活躍する女性、若者、学生、留学生が多く生まれ、チャレンジする人材が活躍しやすいまちにします。

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

スタート
アップ

・ インキュベート事業【144,346】

創業促進のため低廉な使用料の事務所を提供(百道浜 12 区画、博多 16 区画、福岡ビジネス創造センター15 区画等)

・ 福岡市創業者応援団事業【6,391】

地場経営者・専門家と共働し、相談会、交流会、ステップアップ助成事業等を実施

☆ クリエイティブ関連産業の振興、★誘致推進事業【34,237】

ゲーム、ファッション(FACo)、デザイン、音楽等のクリエイティブ産業の振興、★セミナー活用等によるゲーム企業等の誘致推進

・ クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業、★クリエイティブ産業拠点機能調査検討事業【69,832】

クリエイティブ福岡推進協議会事業、クリエイティブフェスタの開催、スタートアップサポーターズ事業、海外ビジネス展開

★福岡のクリエイティブ関連産業の包括的拠点としてのニーズや内容を把握し、設置について検討

☆ アジアフォーカス・福岡国際映画祭【76,297】

優れたアジア映画の新作・日本未公開作を上映するとともに、招聘した映画監督等によるフォーラム開催など市民参加型イベントを実施

★ 女性活躍企業応援事業【2,500】

民間企業の女性プロジェクトチームの実践的活動の支援等

★ 働く女性のチャレンジ支援事業【1,187】

働く女性たちに対し、次世代のリーダー・管理職として活躍するための意識改革、能力の開発等を支援

★ 大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業【8,000】

大学・専門学校等の教育機関や企業と連携し、ゲーム・映像等の即戦力や専門人材を育成

創造産業
の振興

女性・学生の活躍
大学等機能強化



8. 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている

都市圏及び九州経済を牽引していくため、国際競争力のある都心部及び活力拠点の形成を図るとともに、国際的なビジネス交流やグローバル人材の活躍の場づくりを行います。また、アジアと共に発展していくため、国際貢献・国際協力を推進します。

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

- ・ **都市再生の推進【27,342】**
民間開発の適正誘導や公共用地等の活用検討など、官民一体となった都心部の機能強化と魅力づくり
- ・ **産学官民連携による国際競争力強化【49,700】**
産学官民が一体となって地域の成長戦略の策定から実施までを一貫して行う「福岡地域戦略推進協議会」への参画
- ・ **都心部等の新たな幹線道路の検討【4,300】**
渋滞の緩和と回遊性の向上に向けた天神地区における新たな幹線道路の検討
- ☆ **アイランドシティへのアクセス道路の強化**
アイランドシティへの自動車専用道路の早期事業化に向けた調査・設計等【483,000】
海の中道大橋(4車線化)及び香椎アイランド線(計画4車線のうち2車線)の整備(H26 春供用)【1,623,000】
- ・ **九州大学移転に伴う西部地域のまちづくり**
元岡・桑原地区における地域主体のまちづくり活動の支援等【3,297】
伊都キャンパスへの主要なアクセス道路の整備(学園通線など)【1,719,785】(H24 年度 2 月補正含む)
- ★ **ITコミュニティ活性化事業【15,000】**
シーサイトもち(SRP 地区)におけるIT関連の交流会開催など、多様化する情報関連産業の交流機能強化
- ☆ **港湾機能の強化**
アイランドシティにおける泊地の浚渫(水深 14m→15m化)【270,000】
- ☆ **総合特区制度の推進【17,000】**
グリーンアジア国際戦略総合特区の推進と本市独自の国際競争力強化策の検討
- ★ **グローバル人材の育成と集積【34,000】**
福岡に多様な人材が集まり、つながることでイノベーションを創出する機能や、教育機関と連携したグローバル人材の育成機関の検討
- ☆ **アジア太平洋こども会議・イン福岡【64,500】**
アジア太平洋の国・地域の子どもの相互交流及び25周年特別事業に対する支援
- ・ **福岡市の「強み」を活かした国際的な貢献・展開【10,180】**
海外への福岡市の「住み良いまちづくり」の紹介、国際貢献・国際協力の推進
- ★ **福岡・超広域経済圏の形成(コンテンツ関連)【7,000】**
釜山での福岡デザイン展、FACoの開催、釜山 G-Star への参画



3 経済対策の推進

(1) 国の緊急経済対策の概要

◆24年度補正予算「日本経済再生に向けた緊急経済対策」について
〔重点3分野〕

- ① 復興・防災対策 〔 事前防災・減災のための国土強靱化の推進、
災害への対応体制の強化 等 〕
- ② 成長による富の創出 〔 中小企業・小規模事業者対策、
人材育成・雇用対策 等 〕
- ③ 暮らしの安心・地域活性化 〔暮らしの安心の確保、地域活性化 等 〕

(単位:億円)

24年度当初予算	24年度予算と一体となった「15ヵ月予算」		差 引 (25当初-24当初)
	24年度補正予算 (緊急経済対策)	25年度当初予算	
	77,279		(15.6%)
45,734	24,426	52,853	7,119

(2) 福岡市の取組み

① 公共事業

◆平成25年度一般会計の公共事業費は、国の経済対策関連事業の2月補正での前倒し実施により、当初予算ベースでは、約15億円の減となっているものの、24年度2月補正分を含めた14ヵ月予算として比較すると、約173億円(+24.7%)と大幅に増額した公共事業費を確保し、切れ目のない執行を実現

◆特別会計及び企業会計を含めた全会計においても、14ヵ月予算での比較では約152億円(+11.5%)と大幅に増額した公共事業費を確保

(単位:億円)

区 分	平成23年度2月補正 (24年度前倒し分)	平成24年度当初予算	平成24年度2月補正 (経済対策関連事業)	平成25年度当初予算 (2月補正前倒し分除く額)	差 引 (25当初-24当初)	差 引 「14ヵ月予算」ベース (25当初+2月補正)- (24当初+2月補正)
一般会計	22	677	210	662	(▲2.2%) ▲ 15	(24.7%) 173
全会計	42	1,275	235	1,234	(▲3.2%) ▲ 41	(11.5%) 152

24年度 14ヵ月予算
1,317億円

25年度 14ヵ月予算
1,469億円

24年度2月補正にて前倒し 実施した主な公共事業

公園等整備	約85億円
道路整備	約47億円
学校校舎等改修	約40億円
市営住宅建設等	約10億円
公民館・老人いこいの家 改築	約4億円
博物館リニューアル	約4億円

② 就労支援

★新規 ☆拡充

(単位:千円)

◆緊急雇用創出事業による雇用の創出 【291,371】

雇用創出効果 323人、うち新規雇用254人

★公園バリアフリー調査 【25,682】

公園のバリアフリー整備状況の実態把握調査

★特別養護老人ホーム利用申込者の生活実態調査 【20,948】

今後の施設整備に向けた入所申込者の実態調査を実施

◆就職促進や就業継続の支援

☆大学・専門学校を活かしたクリエイティブ産業関連高度人材育成事業 【8,000】

大学等の教育機関や企業と連携し、ゲーム・映像等の即戦力や専門人材を育成

・就労相談窓口事業 【44,256】

各区にキャリアコンサルタントを配置し、個別相談、セミナーの開催、求人情報の紹介を行う窓口を設置

★安心こども基金を活用した私立保育所の保育士処遇改善や保育士就職支援等 【547,034】

・中高年雇用促進事業 【52,576】

40歳以上の中高年を雇用する企業に雇用奨励金を交付

③ 金融支援

・「経営力強化資金」の創設

・「経営安定化特別資金」の継続実施

・商工業振興資金の金利引き下げ

・「環境・エネルギー対応資金」の創設

金利1.3% 融資限度額2.8億円 新規貸付枠100億円

金利1.4～1.5% 融資限度額1億円

短期資金の融資利率の引き下げ〔1.7% → 1.6%〕等

再生可能エネルギー設備及び省エネ設備導入のための資金創設〔金利1.2% 融資限度額1億円〕

中小企業金融
円滑化法の
終了対策

商工金融資金融資枠の十分な確保

(単位:億円)

	平成25年度当初予算
融資枠	3,521
新規貸付枠	1,548
預託金(予算)	1,107

	平成23年度	平成24年度
融資枠残高実績	3,349	3,215
新規貸付実績	1,085	756
預託金実績	1,170	1,101

※H24は12月末現在

Ⅲ 行財政改革（ポイント）

1 行財政改革の推進

- ・「市民の納得と共感」「健全な財政運営」「チャレンジする組織改革」を着実に推進
- ・予算編成における局区の裁量を拡大し、現場の自律経営機能を強化

2 財政健全化に向けた改革の取り組み

- ・歳入確保、行政運営効率化などにより56億円の財源を確保
- ・市長の給与を削減し改革を率先垂範（▲20%）
- ・中長期的な財政負担の軽減と安全安心な公共施設維持のためアセットマネジメント事業費を639億円確保（80億円増）

3 市債発行の抑制

- ・市債発行額を縮減（一般会計▲40億円、全会計▲130億円）
- ・市債残高を着実に縮減（一般会計▲88億円、全会計▲315億円）
- ・一人当たり市債残高も減少

1 行財政改革の推進

(1) 行財政改革推進の取組み

現在策定中の行財政改革プランの趣旨を先取りし、効率的で筋肉質な市役所をめざし、「市民の納得と共感」、「チャレンジする組織改革」、「健全な財政運営」の取組みをはじめます。

★新規 ☆拡充 (単位:千円)

★行財政改革プランの策定

財源の確保と、行政運営の仕組みや発想、手法の抜本的な見直しに向けた取組みを定める行財政改革プランの策定(6月予定)

市民の納得と共感

★区役所窓口サービス改善事業【62,156】

東区役所1階の窓口増設などのレイアウト変更、転出入手続きの利便性向上のためのシステム導入拡大

★南区保健福祉センター健診フロアー拡充等【11,993】

健診フロアー拡充による健診のスムーズ化、プライバシー保護等

★区役所窓口接遇向上【2,937】

区役所窓口の接遇向上に向けた取組み

★区役所来庁者実態調査【10,000】

各区役所の利用者の状況等の調査

チャレンジする組織改革

★行政評価の推進【6,783】

新たな行政評価を実施するにあたり、市民や有識者の意見を反映

★組織改革に向けた研修の実施【2,439】

管理職研修等による組織改革の推進

★全国都市改善改革実践事例発表会の開催【1,283】

全国の自治体業務改善実践事例を一堂に集めた発表会の開催

★基幹系システム刷新計画の策定【30,000】

現状分析及び業務プロセスの見直し(BPR)等により、システム刷新に向けた方向性を示す「基幹系システム刷新計画」の策定



健全な財政運営

★「税務行政推進プラン」の策定

市税収入の確保に向けた税務行政の運営方針の策定

★「財産有効活用プラン(仮称)」の策定

未利用地など市有財産の有効活用推進に向けた計画の策定

★「補助金ガイドライン(仮称)」の策定

補助金の終期設定や公募の原則化、外部審査等のルール化

★「第3次外郭団体改革実行計画」の策定

外郭団体のあり方や経営改善の方向性を定める実行計画の策定

★個人住民税の特別徴収の切替促進【3,000】

収入率向上の観点から、事業所に対し、個人住民税の特別徴収(給与引去)への切替促進を強化

★契約事務適正化の推進【19,514】

市長部局の契約全件を把握し、予定価格や特命随意契約の見直しを実施

★公共施設ライフサイクルコスト低減の検討【3,000】

施設の新設・更新にあたりライフサイクルコスト低減を図るためのマニュアル作成

★PPP・PFIなど民間活力の導入による公共施設の建替

総事業費の縮減と平準化を図るため、民間ノウハウと資金等の活用による学校給食センター、中央児童会館等の建替の実施

★郵送請求事務の集約化【8,573】

区役所市民課の郵送請求に関する事務の集約化

★みどり活用推進事業【35,200】

公園等の経営的視点を取り入れた基本計画の策定、駐車場の有料化や、水上公園の活用検討

★動植物園における経営改善【8,500】

動植物園の経営改善に向けたマーケティング調査等

・魚滓処理のあり方検討【887】

水産加工センターが実施している魚滓処理及び公社のあり方の検討

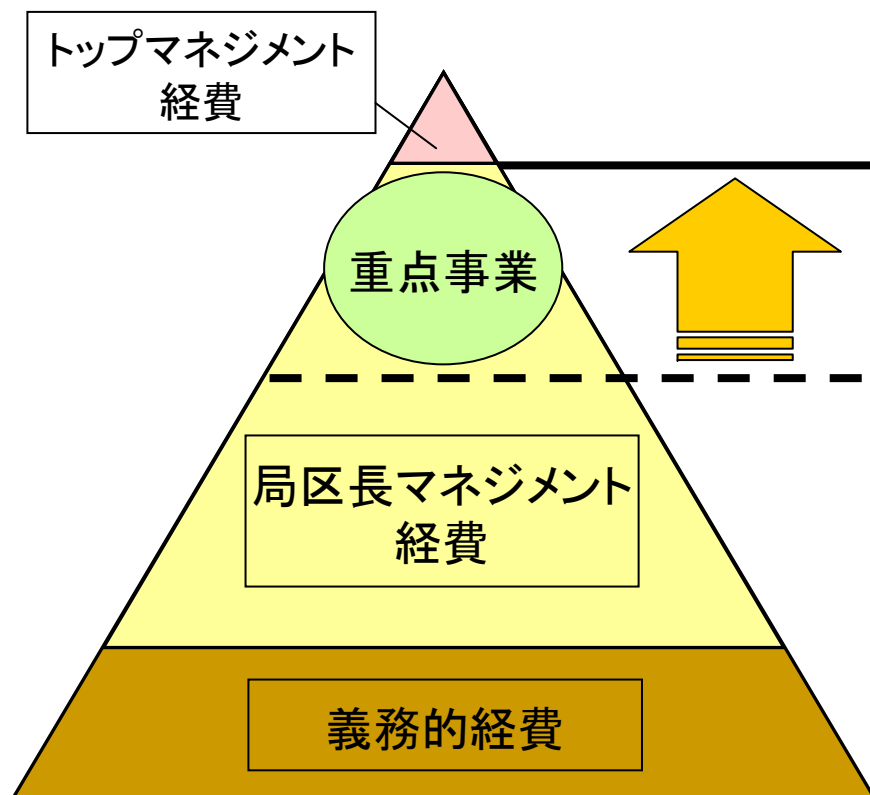
・幼稚園の運営に関する検討【176】

市立幼稚園のあり方の検討

(2) 局・区の自律経営の推進

- ・ 局・区の自律経営機能の発揮を促すため、平成25年度予算編成では、重点事業を含むほとんどの事業費について、各局・区長による予算原案の作成を試行しました。
- ・ この試行により、局・区内でのメリハリの議論や、局・区長のトップとの間での施策・事業の方向性についてのコミュニケーションを進めました。
- ・ 今後、局区間の横の連携をより一層進めていきます。

○ 局・区長の権限と責任の拡大



○ トップと局・区長のコミュニケーションの促進

10月 市政取組方針(通達)

予算原案作成

11月 局・区長による市長・副市長への
プレゼンテーション

追加指示・調整

1月 市長・副市長による査定

2 財政健全化に向けた改革の取組み

(1) 改革による財源確保

- ・ 市民生活に必要な行政サービスを確保するとともに、「生活の質の向上」と「都市の成長」につながる施策を実現していくため、現在策定中の「行財政改革プラン」において、新たな財政見直しに基づき、実現方策(歳入の確保、経常的経費の見直し、投資の選択と集中)を取りまとめます。
- ・ 平成24年5月の試算で、4年間で851億円の財源が必要でありましたが、改革初年度である25年度予算において、概ね200億円程度の効果がある取り組みを実施することとしており、引き続き、今後3年間に必要な財源確保に取り組んでいきます。

財源捻出総額 5,636,275千円

今後4年間で
概ね200億円程度の財源効果

1. 歳入の確保

▲ 1,506,150

①収入・収納率等の向上

- ・ 市税収入率の向上 [H24 96.2% → H25年度 96.4%]
- ・ 学校給食費未納対策の強化 [H23年度収納率98.7%の向上] など

②市有財産の有効活用等による税外収入の確保

- ・ FIT制度導入等による清掃工場売電収入の増
- ・ 未利用地、市営住宅将来活用地の積極的な売却・貸付 など

2. 行政運営の効率化

▲ 3,266,850

①人件費の抑制及び組織のスリム化

- ・ 市長・副市長など特別職給与・退職手当の減額
- ・ 退職手当の段階的引下げ
- ・ 持ち家にかかる住居手当の段階的引下げ・廃止
- ・ 運転手業務の見直し
- ・ 公立保育所の民営化 (西戸崎保育所)
- ・ 市立学校職員互助組合の福利厚生事業への交付率見直し など

②企業会計・特別会計における見直し

- ・ 下水道事業会計における一般会計基準外繰入金の縮減
- ・ 競艇事業の収益の確保による一般会計繰出増
- ・ 高速鉄道事業会計への福祉割引乗車負担補助金の廃止 など

③外郭団体等の見直し

- ・ 学校給食公社委託料 (人件費等) の見直し など
- ・ 健康づくり財団の解散

④その他行政経費の見直し

- ・ 全庁OAシステムにかかる機器集約化等 など

3. 役割分担、関与の見直し

(単位:千円)

▲ 433,055

①補助金の見直し

- ・ 小規模作業所等から障がい福祉サービス事業所への移行促進による補助縮小
- ・ 私立小中学校補助金、朝鮮初級学校補助金の廃止 など

②国・県との財政負担及び財源の適正化

- ・ 松くい虫防除への県補助金の確保 など

4. 行政サービスの見直し

▲ 134,767

①個人給付の見直し

- ・ 就労支援の強化による生活保護費の縮減 など

②受益者負担、減免制度の見直し

- ・ 公園駐車場の有料化
- ・ 肺がん検診自己負担導入 など

5. 公共施設等の見直し

▲ 61,119

①施設の維持管理コストの縮減

- ・ 学校校舎等における建物火災共済保険加入の見直し
- ・ 中部中継所の管理、運転経費の節減
- ・ こども総合相談センターの施設管理費の節減
- ・ 牧場指定管理料の節減 など

②施設の必要性・あり方を見直し

- ・ 西部資源化センターの1系統休止 (本格実施) など

6. その他予算編成手法による見直し

▲ 234,334

上記以外の局区長マネジメント経費の縮減分
(局区長マネジメント経費による縮減総額 ▲1,494,134)

(2) アセットマネジメントの推進

庁舎や学校などの公共施設や道路や下水道などの都市基盤施設の多くが高度経済成長期や政令指定都市移行時期に集中的に整備され、今後はこれらの老朽化への対応が重要な課題になります。老朽化の進行による維持修繕費や更新費用が増大する懸念に対し、施設関連投資額の低減や平準化を図りつつ、安全・安心な市有施設を維持し、良質な公共サービスを持続的に提供することを目的に、全庁的にアセットマネジメントを推進し、計画的かつ効率的な維持管理に取り組んでいます。

●事業費

区 分	平成23年度2月補正 (24年度前倒し分)	平成24年度当初予算	平成24年度2月補正 (経済対策関連事業)	平成25年度当初予算 (2月補正前倒し分除く額)	差 引 (25当初-24当初)	差 引 「14ヵ月予算」ベース (25当初+2月補正)- (24当初+2月補正)
一般会計	11	258	90	270	(4.7%) 12	(33.8%) 91
全会計	27	532	99	540	(1.5%) 8	(14.3%) 80

(単位: 億円)

24年度「14ヵ月予算」
合計 559億円

25年度「14ヵ月予算」
合計 639億円

アセットマネジメントとは

個々の施設における長期修繕計画や長期的視点での更新・建替計画の策定、日々の維持管理ではアウトソーシングの推進によるランニングコストの縮減などを行い、公共施設全体として計画的に管理する手法

①長寿命化

・躯体等長寿命化事業 【1,296,865※】

市営住宅ストック総合活用計画に基づき、躯体耐久性向上に資する外壁改修や屋上防水等を実施

・橋梁アセットマネジメントの推進 【269,000】

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、優先順位の高い橋梁を対象に補修

②機能維持

・市民センター施設整備 【621,632】

経年劣化した設備の改修等を実施

★幹線道路大規模修繕（道路アセット） 【481,238※】

修繕計画に基づき、優先順位の高い幹線道路を対象に予防保全的に補修

・校舎等大規模改造事業 【3,287,889※】

老朽化した校舎等の改造を実施

③ニーズへの対応

・区庁舎耐震対策事業 【11,295】

早良区庁舎の耐震工事の実施設計等

④改築（建替）・更新

・公民館改築 【751,857※】

100坪館の150坪館への建設3館、建設のための設計3館等

・公園再整備事業 【2,465,647※】

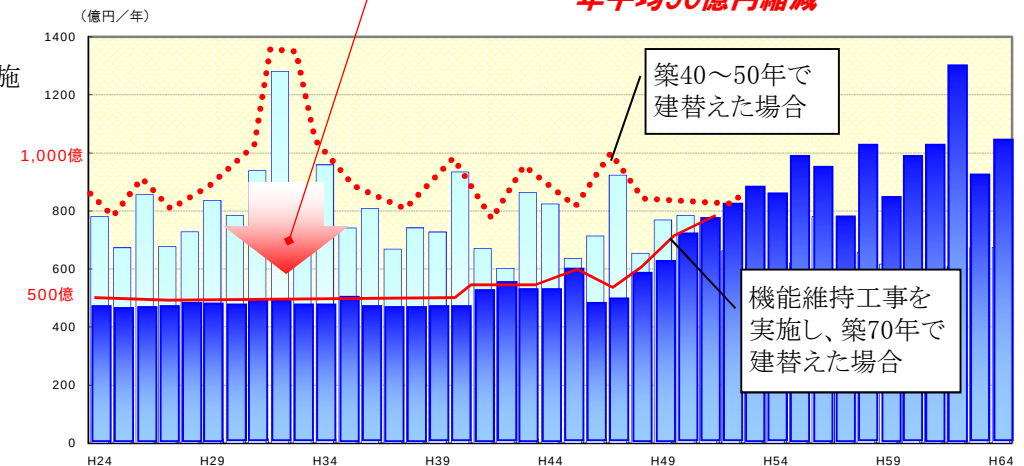
公園再整備計画に基づく街区公園等の再整備

★：新規 ☆：拡充（単位：千円）

※はH24年度2月補正含む額

★アセットマネジメントの効果！

年平均50億円縮減



【施設関連投資額の推計】

長寿命化・・・構造体を耐用年数まで使用するために必要な改修・補修等を実施
機能維持・・・設置している設備等を適切な時期に更新し、陳腐化する機能を回復
ニーズへの対応・・・時代に応じて求められる機能の追加や施設を安全に利用するために必要な改修の実施(耐震改修、バリアフリー化等)
改築・更新・・・機能の陳腐化や狭隘化などによりサービスの提供が困難となる施設や耐用年数を迎えた施設で今後も継続が必要な施設は改築・更新を実施

(3) 財政調整用基金の活用と 基金残高の確保

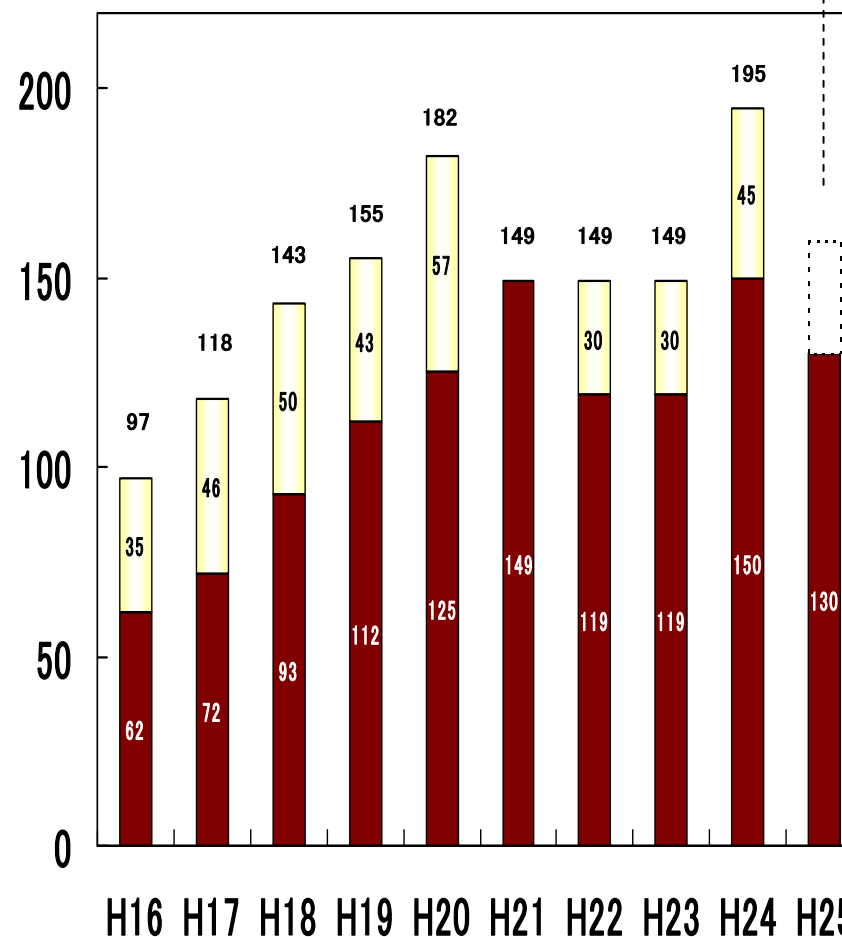
⇒決算剰余金の積立
例年30億円程度

<H24の取組み>

- ・ 市税収入増等の影響により、H24の基金取崩し（30億円）を取りやめ
 - ・ 次年度以降の財源に充てるため、H24における一般財源剰余金を財政調整基金（45億円）を積み立て
- 75億円を基金として新たに繰越し

<H25の取組み>

- ・ 財政調整基金は、子宮頸がん等予防接種・妊婦健診等の国庫負担金の一般財源化、地方交付税の減等に対応するため、H25の財源として活用（65億円）
 - ・ 例年並の決算剰余金積立（30億円）を見込み、年度末残高は合計で160億円となる見込み
- H23年度末に比べ、10億円の残高増



3 市債発行の抑制

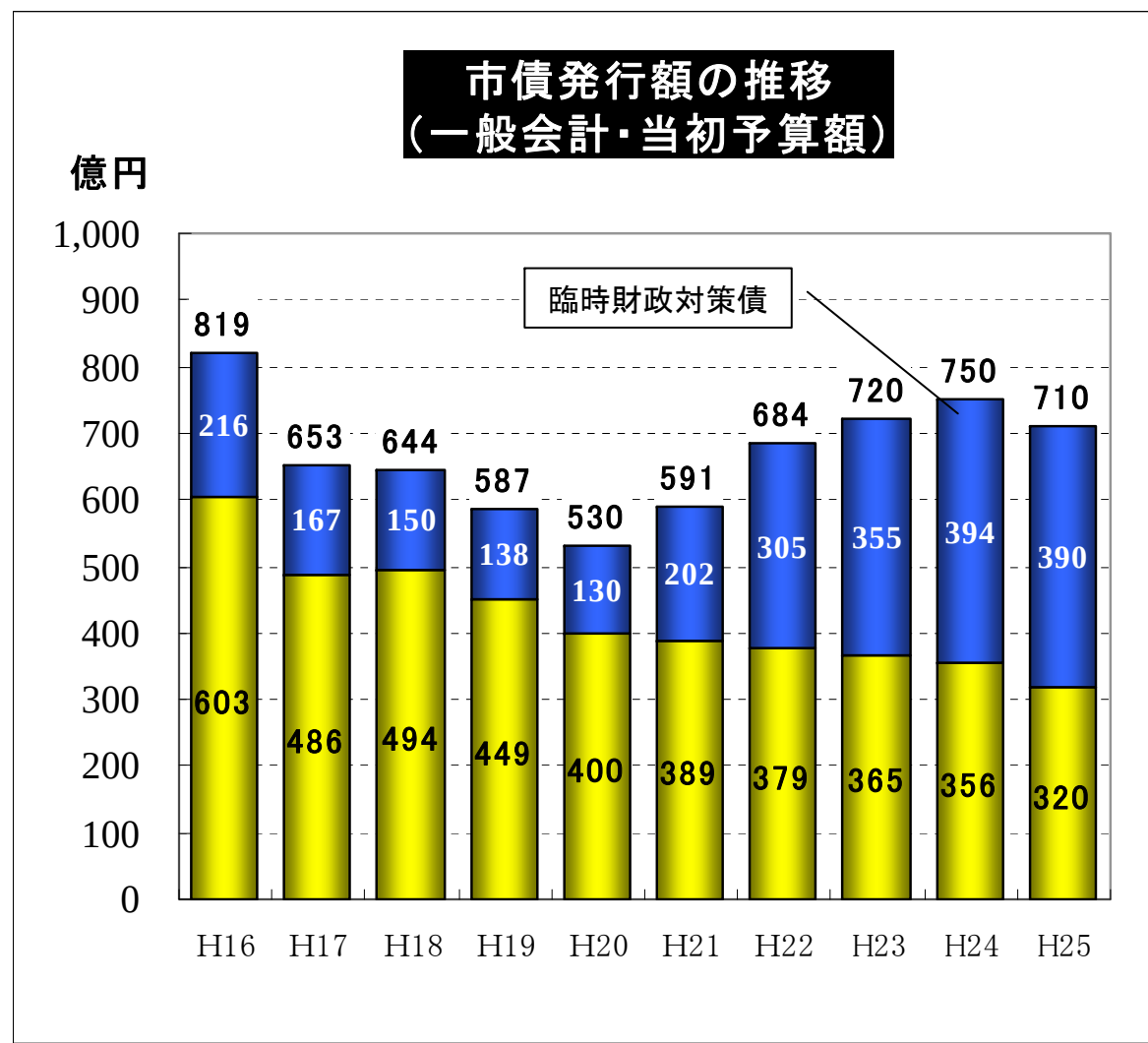
(1) 市債発行額の抑制

①発行額（一般会計）

- ・退職手当債の発行を取りやめ（▲23億円）
- ・増え続けていた臨時財政対策債を抑制（H20以来5年ぶり）
- ・その他の市債発行も抑制（▲13億円）し、総額を縮減（▲40億円）
- ・当初予算での発行額縮減はH20以来5年ぶり

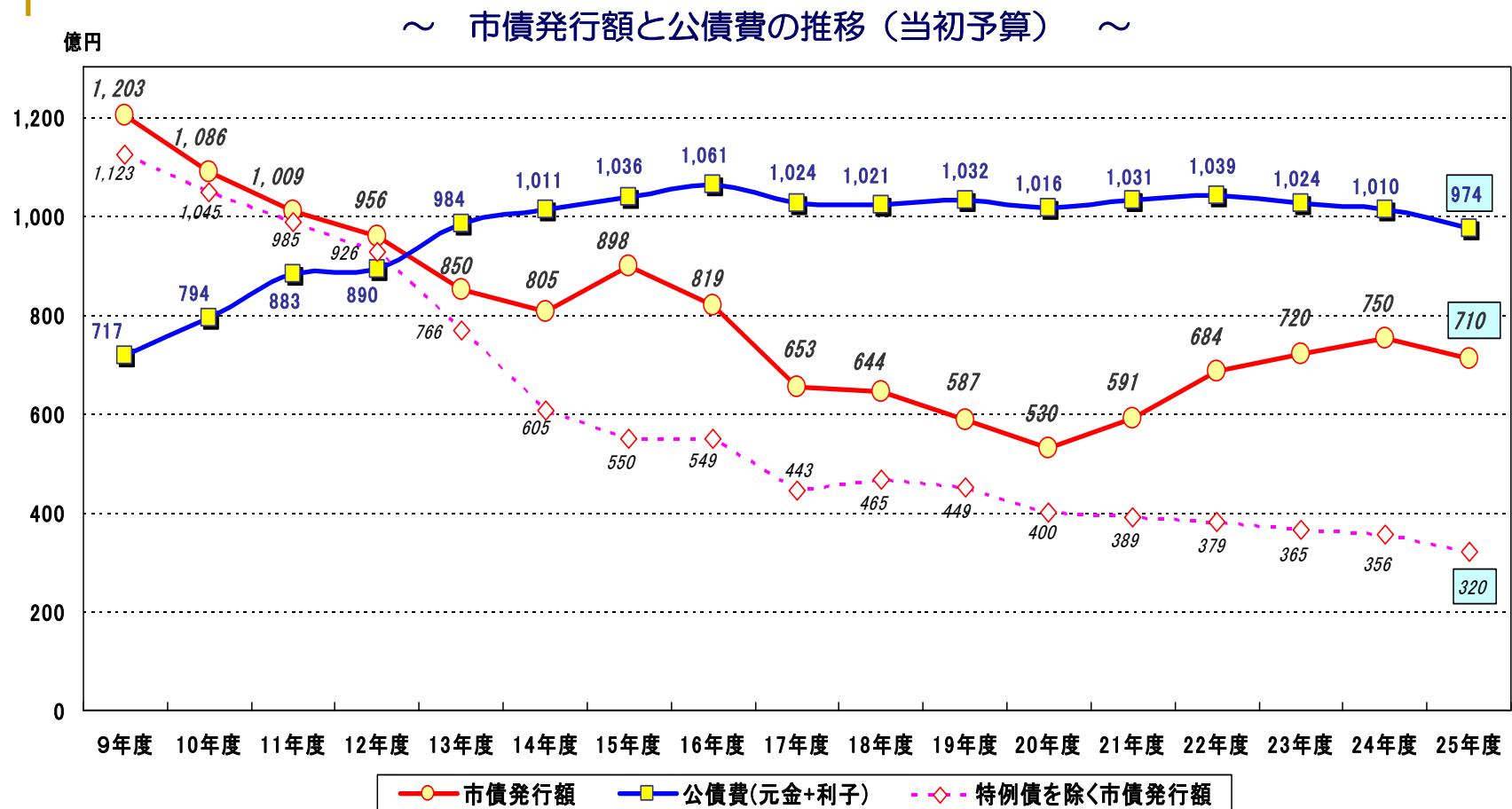
区分	H25	H24	増減額	伸率(%)
臨時財政対策債	390億円	394億円	▲ 4億円	▲1. 0
退職手当債	—	23億円	▲23億円	皆減
その他の市債	320億円	333億円	▲13億円	▲3. 9
合 計	710億円	750億円	▲40億円	▲5. 3

②市債発行額の推移



<参考>市債発行額と公債費の状況（一般会計）

平成25年度一般会計市債発行額 約710億円（対前年度当初予算比 約40億円の減）



※特例債：後年度に交付税により補てんされる特例的に措置された市債（臨時財政対策債、減税補てん債（～H18）、臨時税収補てん債（H9））

(2) 市債残高の縮減

① H25年度末市債残高の状況

- ・ H24年度予算と比べ、市債残高を減少（一般会計▲88億円、全会計▲315億円）
- ・ H24年度に行う経済対策に伴う補正を含めても、2ヵ年で市債残高を着実に減少する見込み（H23年度決算と比べ、一般会計▲67億円、全会計▲307億円）
- ・ 市民一人当たり市債残高も着実に減少

	H23年度	H24年度			H25年度				24年度 予算比 ②-①	23年度 決算比 (B)-(A)
	決算(A)	現在 予算① ※1	25年度 への 繰越	決算 見込 ※2	発行	償還	当初 予算② ※3	決算見 込(B) ※4		
一般会計	億円 12,289	億円 12,402	億円 174	億円 12,228	億円 710	億円 798	億円 12,314	億円 12,222	億円 ▲88	億円 ▲67
全会計	24,695	24,795	191	24,604	1,173	1,488	24,480	24,388	▲315	▲307

※1: 2月補正後の現在予算における決算見込額

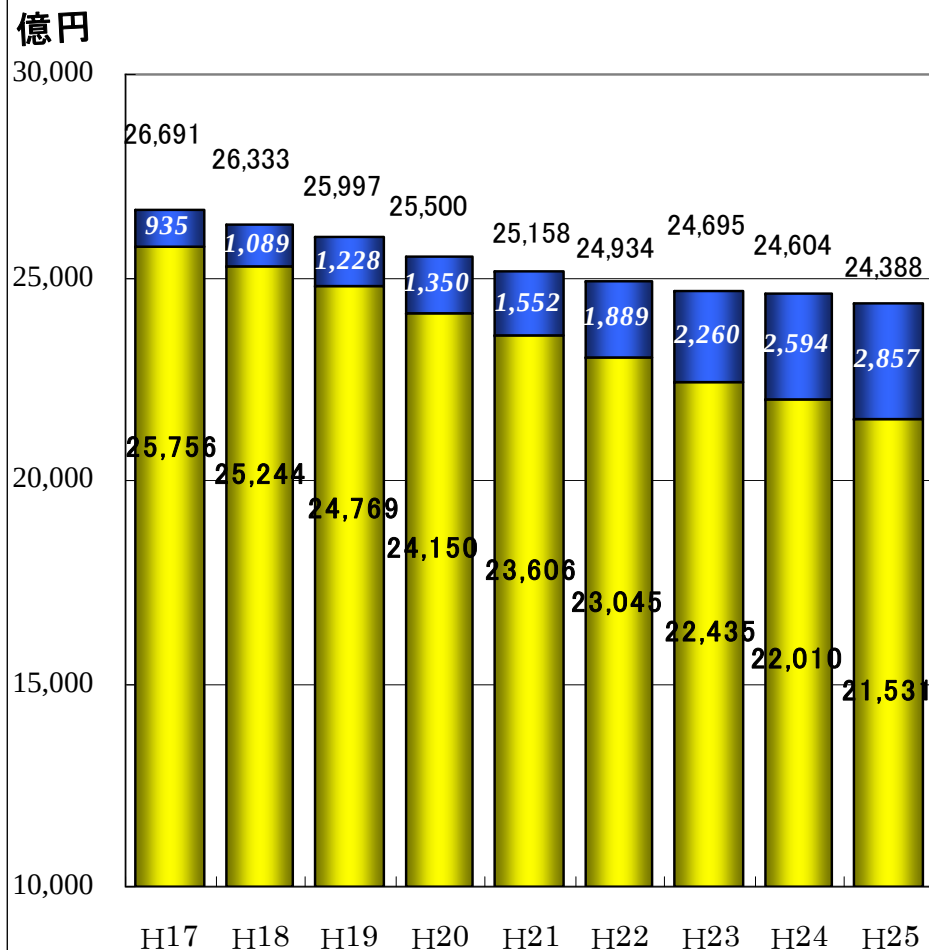
※2: 24年度から翌年度への繰越明許額を除く決算見込額

※3: 25年度当初予算に24年度からの繰越明許額を加えたもの

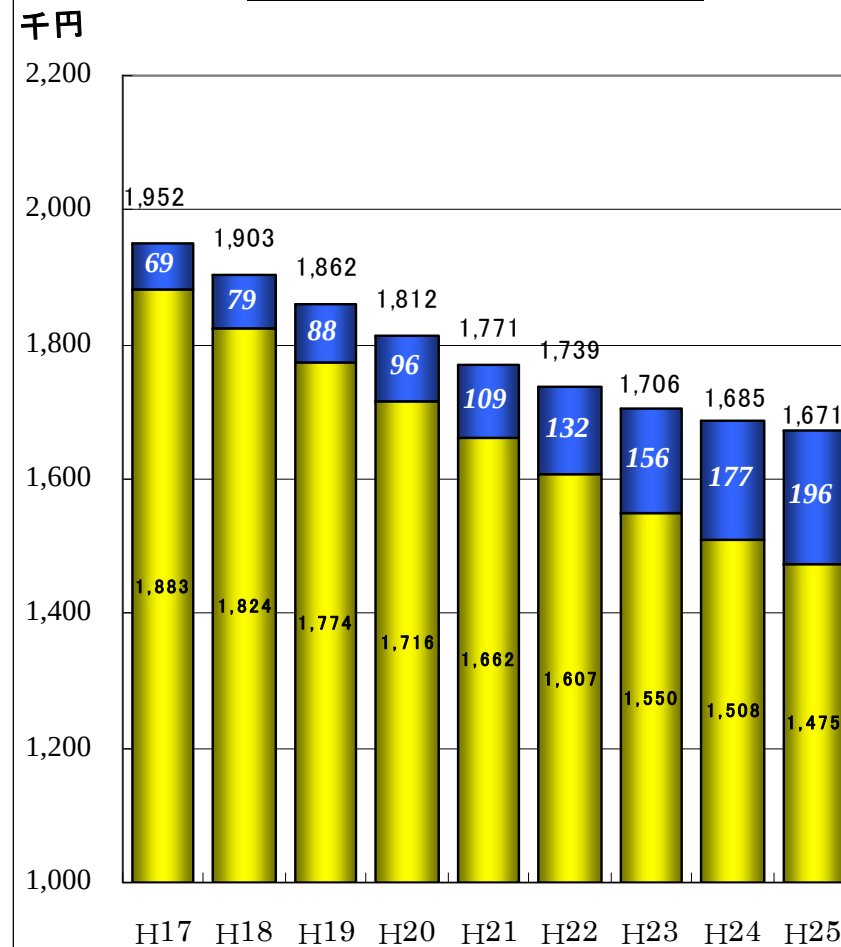
※4: 地域の元気臨時交付金による振替を反映した決算見込額

②市債残高の推移

市債残高の推移
(全会計)



市民一人当たり市債残高
の推移(全会計)



※H23までは決算額、H24 は繰越明許額を除く決算見込、H25は地域の元金交付金による振替を反映した決算見込

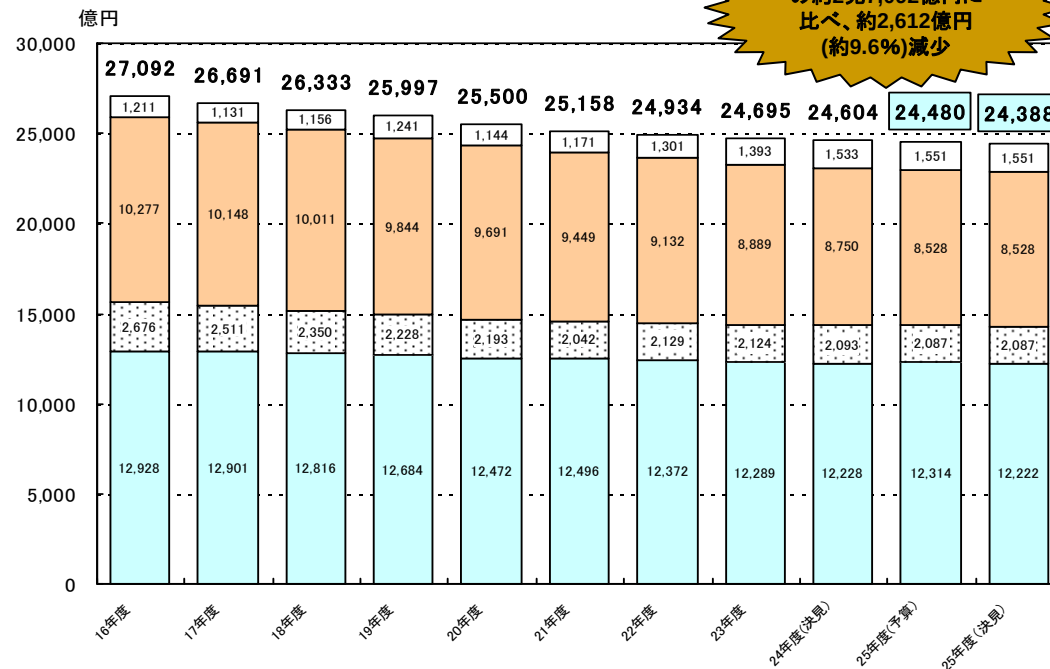
③市債残高の縮減状況（全会計）

平成25年度当初予算における見込み

（平成24年度現在予算との差）

- 一般会計 約 1兆2,314億円 （▲ 88億円）
- 特別会計 約 2,087億円 （▲ 23億円）
- 企業会計 約 8,528億円 （▲ 222億円）
- 積立金 約 1,551億円 （ 18億円）
- ◇ 全会計 約 2兆4,480億円 （▲ 315億円）

～ 市債残高の推移 ～



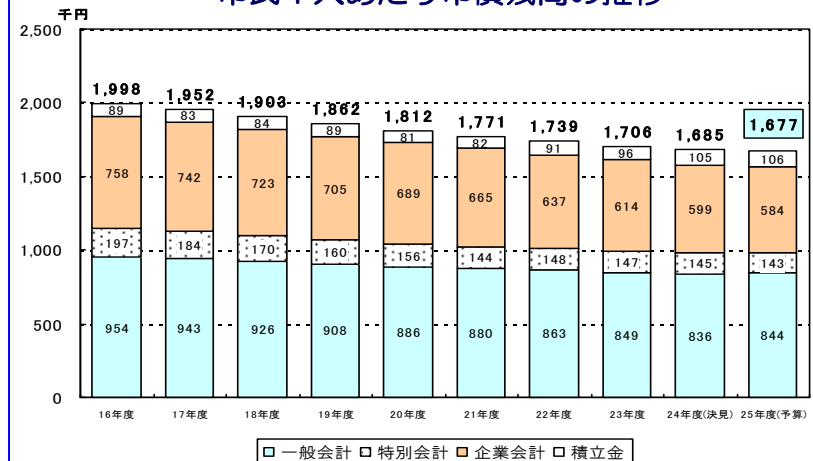
□ 一般会計 □ 特別会計 □ 企業会計 □ 積立金

※24年度(決見)は繰越明許額を除く

※25年度(決見)は地域の元金臨時交付金による振替を反映

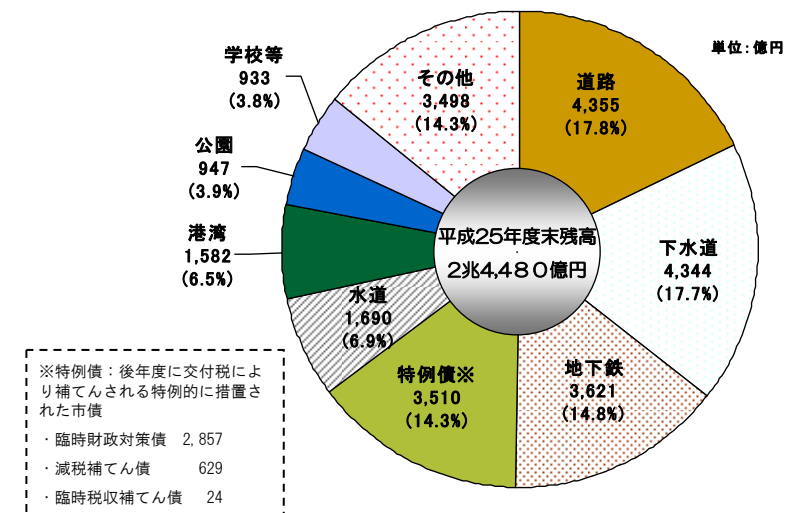
【参考】

～ 市民1人あたり市債残高の推移 ～



□ 一般会計 □ 特別会計 □ 企業会計 □ 積立金

～ 市債残高の内訳 ～

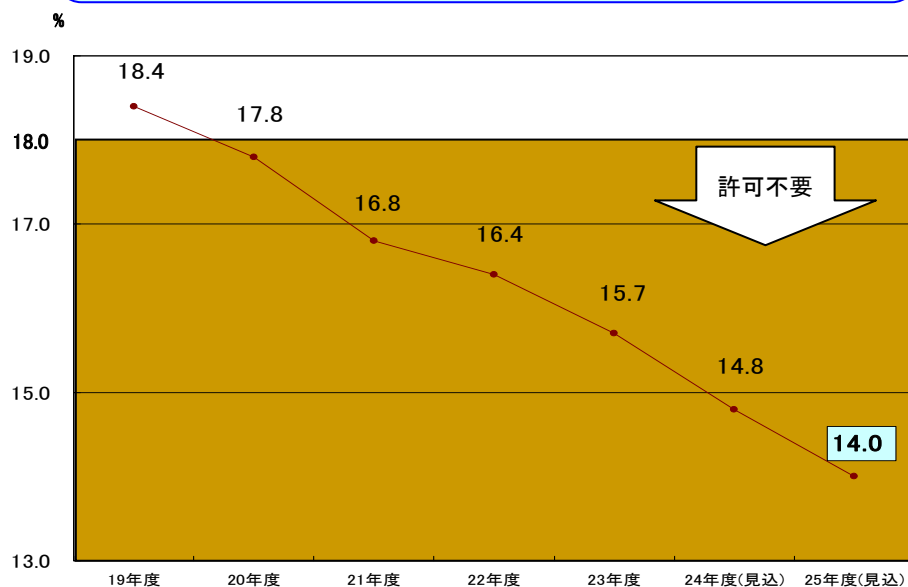


(3) 市債関係指標の状況

◇ 実質公債費比率

平成25年度 **14.0%**

■ 地方債の発行に国の許可が不要な18%未満の水準を6年連続で維持する見込み

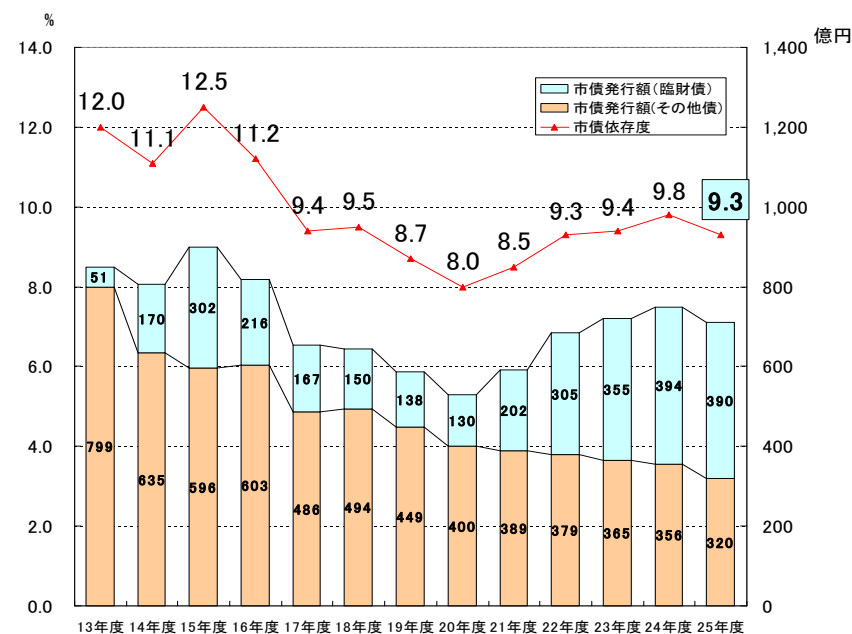


* 実質公債費比率は、19年度から23年度は決算、24年度は最終予算、25年度は当初予算によります。

◇ 市債依存度(当初予算)

平成25年度 **9.3%**

■ 9年連続で10%を下回る水準を維持



【実質公債費比率】

税収や地方交付税など各自治体に共通した標準的な収入(標準財政規模)に占める、企業会計・外郭団体なども含めた実質的な元利償還金の割合。この比率が18%以上になると、地方債を発行する際に国の許可が必要となります。また、25%以上になると、財政健全化法に基づき、自治体は値を抑制するための財政健全化計画を策定し、財政健全化に向けて自主的に努力する必要がある、さらに35%以上になると、国等の関与による確実な財政再生への取組みが必要になります。

【市債依存度】

歳入総額に占める市債の割合のこと。つまり、当該年度の歳入のうち、どれだけの割合を市債発行に依存しているかを表しています。

Ⅳ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- ・一般会計は、社会保障関係費が増加する一方で、国の緊急経済対策に連動し2月補正での公共事業前倒しを行ったことにより、過去最大規模だったH24年度当初予算と比べ、0.9%減少
- ・全会計合計では、特別会計や企業会計での企業債償還金や借換債の減少などにより、2.6%の減少

※ 以下、詳細は別添資料「平成25年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区分	H25	H24	増減額	伸率(%)
一般会計	7,596億円	7,662億円	▲ 66億円	▲0.9
特別会計	8,109億円	8,390億円	▲281億円	▲3.3
企業会計	2,237億円	2,365億円	▲129億円	▲5.4
合 計	1兆7,942億円	1兆8,417億円	▲476億円	▲2.6

Ⅳ 予算案の姿（ポイント）

＜歳入＞

- ・ 市税収入は個人市民税の増等により増収が見込まれる一方、地方財政計画における給与費の減等により、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は減少
- ・ 退職手当債の発行取りやめ、臨時財政対策債の減等により市債発行を抑制
- ・ 子宮頸がん等予防接種・妊婦健診等の国庫負担金の一般財源化などに対応するため、財政調整基金を活用

＜歳出＞

- ・ 国、他都市の状況等を踏まえた職員給与の見直し、組織のスリム化等により人件費総額を抑制
- ・ 高齢者・障がい者の医療・介護や、生活保護、保育所施設運営費等の社会保障関係費は増加
- ・ 政策推進と行財政改革の連動により、真に必要な施策事業に重点化
- ・ 国の緊急経済対策と連動した「14ヵ月予算」で公共事業費を確保し、身近な生活基盤整備やアセットマネジメントを推進

2 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況 (概要)

項目	H25	H24	増減額	伸率(%)
市税	2,686億円	2,641億円	45億円	1.7
個人市民税	835億円	809億円	26億円	3.2
法人市民税	356億円	362億円	▲ 6億円	▲ 1.7
固定資産税	1,061億円	1,056億円	5億円	0.4
その他	434億円	414億円	20億円	4.8
地方譲与税	65億円	66億円	▲ 1億円	▲ 1.9
交付金	234億円	242億円	▲ 8億円	▲ 3.2
地方特例交付金	6億円	7億円	▲ 1億円	▲ 16.0
地方交付税等	781億円	829億円	▲ 48億円	▲ 5.8
地方交付税	391億円	435億円	▲ 44億円	▲ 10.1
臨時財政対策債	390億円	394億円	▲ 4億円	▲ 1.0
その他	138億円	97億円	41億円	41.9
合 計	3,910億円	3,882億円	28億円	0.7

②一般財源の状況（ポイント）

＜総額＞ 3,910億円（28億円の増）

＜市税＞ 2,686億円（45億円の増）

- ・ 個人市民税は給与収入の増、納税者の増等により26億円増
- ・ 法人市民税が法人税率引き下げの影響により6億円減
- ・ 市たばこ税は県たばこ税からの移譲により18億円増

＜地方交付税等＞ 781億円（48億円の減）

- ・ 市税収入の増加、国の地方財政計画における給与費の減等に伴い、臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は減少（地方交付税▲44億円）
- ・ 増え続けていた臨時財政対策債はH20以来5年ぶりに減（▲4億円）

＜その他＞ 基金繰入金65億円（35億円の増）

- ・ 子宮頸がん等予防接種・妊婦健診等の国庫負担金の一般財源化、地方交付税の減等に対応するため、財政調整基金を活用し、一般財源総額を確保（基金繰入金35億円増）

(2) 性質別歳出の状況（概要）

項目	H25	H24	増減額	伸率(%)
人件費	802億円	815億円	▲14億円	▲1.7
扶助費	1,839億円	1,769億円	71億円	4.0
公債費	974億円	1,010億円	▲35億円	▲3.5
義務的経費 計	3,615億円	3,594億円	22億円	0.6
物件費	811億円	794億円	17億円	2.1
補助費等	492億円	480億円	12億円	2.4
普通建設事業費	662億円	677億円	▲15億円	▲2.3
補助事業費	368億円	370億円	▲2億円	▲0.5
単独事業費	294億円	307億円	▲13億円	▲4.3
維持補修費	92億円	88億円	4億円	4.5
貸付金	1,320億円	1,426億円	▲106億円	▲7.4
繰出金	538億円	539億円	▲2億円	▲0.3
その他	66億円	64億円	2億円	3.5
合計	7,596億円	7,662億円	▲66億円	▲0.9

（２）性質別歳出の状況（主な増減）

＜義務的経費＞

- ・ 人件費は職員給与の見直しなどにより14億円減
- ・ 扶助費は障がい福祉（40億円）、生活保護（21億円）、保育所施設運営費（11億円）の増などにより71億円の増
- ・ 公債費は元金（▲18億円）、利子（▲17億円）の減により35億円の減
- ・ 歳出総額に占める義務的経費の割合は47.6％（H24比0.7ポイント増加）

＜その他＞

- ・ 普通建設事業費は、保育所整備費（17億円）、アセットマネジメント事業費（12億円）などの増の一方で、経済対策による前倒しに伴う公園整備費（▲42億円）の減、給食センター再整備の事業進捗（▲26億円）の減などにより、総額では15億円の減
- ・ 貸付金は、商工金融資金預託金（▲105億円）による減

(3) 目的別歳出の状況（概要）

項目	H25	H24	増減額	伸率(%)	
総務費	451億円	452億円	▲1億円	▲0.3	
こども育成費	927億円	890億円	37億円	4.1	
保健福祉費	1,881億円	1,813億円	68億円	3.8	
環境費	301億円	295億円	6億円	1.9	
経済観光文化費	1,252億円	1,350億円	▲98億円	▲7.2	
土木費	392億円	378億円	14億円	3.6	※
都市計画費	595億円	647億円	▲52億円	▲8.1	※
港湾費	75億円	68億円	7億円	9.6	
消防費	142億円	136億円	5億円	4.0	
教育費	464億円	474億円	▲10億円	▲2.2	※
公債費	979億円	1,014億円	▲35億円	▲3.4	
その他	140億円	146億円	▲6億円	▲3.9	
合計	7,596億円	7,662億円	▲66億円	▲0.9	

※は、経済対策による2月補正前倒しに伴い減少しています。（詳細は次ページ）

（３）目的別歳出の状況（主な増減）

＜こども育成費＞ H24比＋37億円

待機児童解消に向けた保育所整備（17億円）、保育所運営（11億円）

安心こども基金を活用した保育士処遇改善（5億円）

＜保健福祉費＞ H24比＋68億円

障がい福祉（40億円）、生活保護（21億円）、高齢福祉（12億円）

＜経済観光文化費＞ H24比▲98億円

商工金融資金預託金の減（▲105億円）、第二産学連携交流センター整備（8億円）

立地企業の新規操業開始に伴う立地交付金の増（3億円）

＜土木費＞ H24比＋14億円（※2月補正を含めると＋34億円）

住宅市街地総合整備支援（IC・春吉地区事業の進捗）（9億円）

市営住宅整備・管理（アセットマネジメント含む4億円※）

＜都市計画費＞ H24比▲52億円（※2月補正を含めると▲3億円）

街路新設改良（▲10億円※）、公園整備（▲42億円※）

地下鉄七隈線延伸建設工事着手に伴う高速鉄道出資金・補助金の増（7億円）

＜教育費＞ H24比▲10億円（※2月補正を含めると＋28億円）

校舎増築・附帯施設整備（23億円※）学校大規模改造（▲18億円※）

伊都土地区画整理事業地内小学校新設（7億円）

給食センター再整備の事業進捗（▲26億円）

3 特別会計の状況（概要）

項目	H25	H24	増減額	伸率(%)
後期高齢者医療	161億円	164億円	▲4億円	▲2.2
国民健康保険事業	1,471億円	1,444億円	28億円	1.9
介護保険事業	852億円	813億円	38億円	4.7
中央卸売市場	82億円	134億円	▲52億円	▲38.5
港湾整備事業	220億円	331億円	▲111億円	▲33.6
香椎駅周辺 土地区画整理事業	58億円	48億円	10億円	21.8
市営競艇事業	781億円	766億円	15億円	2.0
市債管理	4,373億円	4,577億円	▲204億円	▲4.5
その他	110億円	113億円	▲2億円	▲2.0
合計	8,109億円	8,390億円	▲281億円	▲3.3

3 特別会計の状況（主な増減）

- ＜後期高齢者医療＞ 広域連合への納付金（▲3億円）
- ＜国民健康保険事業＞ 保険給付費（14億円）、後期高齢者支援金（14億円）
介護納付金（6億円）、繰上充用（▲2億円）、予備費（▲5億円）
- ＜介護保険事業＞ 保険給付費（44億円）、償還金（▲2億円）
介護給付費準備基金積立金（▲4億円）
- ＜中央卸売市場＞ 新青果市場整備（▲47億円）、西冷蔵庫整備（▲7億円）
- ＜港湾整備事業＞ 基金積立金（▲90億円）、元金利子諸費（▲34億円）
臨海土地造成（14億円）、ふ頭用地造成（▲3億円）
- ＜香椎駅周辺土地区画整理事業＞ 物件移転補償等（9億円）
- ＜市営競艇事業＞ 受託事業費（12億円）、繰出金（2億円）、公債費（▲1億円）
- ＜市債管理＞ 新発債（▲136億円）、償還（▲43億円）

4 企業会計の状況

- <下水道事業> 雨水処理負担金（▲3億円）、建設改良費（4億円）
 企業債償還金（▲127億円）
 <水道事業> 建設改良費（▲7億円）、企業債償還金（12億円）
 <工業用水道事業> 建設改良費（▲1億円）
 <高速鉄道事業> 建設改良費（23億円）、企業債償還金（▲24億円）
 減価償却費（▲2億円）、支払利息等（▲4億円）

項目	H25	H24	増減額	伸率(%)
下水道事業	1,028億円	1,154億円	▲127億円	▲11.0
水道事業	587億円	582億円	5億円	0.9
工業用水道事業	3億円	5億円	▲2億円	▲31.0
高速鉄道事業	618億円	624億円	▲6億円	▲0.9
企業会計合計	2,237億円	2,365億円	▲129億円	▲5.4

